



# KUMAMOTO GREEN

The Weekly Bulletin

# Rotary-Club



2015-2016年度  
テーマ

国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」

R.I. 会長 K.R. "ラビ" ラビンドラン

地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 野田 三郎

熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

熊本グリーンR.C. 会長 大友 利行

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー 第2720地区 **熊本グリーンロータリークラブ週報**

【2015年11月9日】

第1195回

2015-2016年度 第15回

**★ 熊本グリーンRC・熊本北RC合同例会式次第 ★**  
日時：平成27年11月9日（月）18:30～（於：ホテルキャッスル）

★例 会（18:30）

	司 会	仙波 洋八 S.A.A.	（熊本グリーン）
点 鐘		大友 利行 会長	（熊本グリーン）
国歌斉唱			
ロータリーソング（奉仕の理想）			
来訪者紹介		大友 利行 会長	（熊本グリーン）
友情の握手			
会長スピーチ		大友 利行 会長	（熊本グリーン）
//		村上 芳明 会長	（熊本北）
幹事報告		荒木 一之 会員	（熊本グリーン）
出席報告		葉 高源 会員	（熊本グリーン）
//		白石 正英 会員	（熊本北）
委員会報告			
スマイル報告		田中 純司 会員	（熊本グリーン）
		倉田 榮喜 会員	（熊本北）

卓 話（19:00）

卓話者紹介 仙波 洋八 会員 （熊本グリーン）

「松井家の歴史と文化財について」  
八代神宮 宮司 第十四代松井家当主 松井 葵之 氏（八代RC）

点 鐘（19:30） 村上 芳明 会長 （熊本北）

★懇親会（19:45位～ 会費：3,000円）

※「懇親会」は例会終了後、下記の場所へ移動して開催致します。

※「もっとも」（上通町5-6 村上屋ビル2F）

★蜂楽饅頭の隣のビル2F TEL:352-6438



- 11/23 祝日（勤労感謝の日）定款第6条第1節に基づき 例会取止め
- 11/30 「2020年大学入試は何か変わる」(株)なるほどゼミナール 社長 山中 孝光 氏
- 12/7 「マイナンバー制度について」公認会計士 立石 和裕 氏（熊本RC）
- 12/14 「ロータリーの友について」本田 悟士 会員
- 12/21 「年忘れ家族会」（例会中に「年次総会」あり）（於：キャッスル11F）

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

**会長スピーチ**

(熊本グリーンロータリークラブ 大友 利行 会長)



「葬式仏教」という言葉があります。仏教が人の葬式を中心に展開している事をいい、その中に仏教を揶揄するニュアンスもある言葉です。その成り立ちはさておき、この言葉は今や日本文化のユニークな産物ともいえます。タイ、ベトナム、中国、朝鮮など仏教が今も生きている地方では「葬式仏教」といっても何のことも全く通じないでしょう。こういう日本独特の仏教のかたちが、一般的になったのは、15世紀頃からで16, 17世紀には、沖縄、北海道を除く日本列島の各地に定着するようになりました。

今日は、室町、戦国、江戸と続いてきた松井家の歴史の卓話ですが、江戸時代は表向き仏教は排斥されました。金銭を蓄え、綾錦を身にまとう特権的地位にある僧侶の墮落がその原因です。藤原惺窩や林羅山、山崎闇斎などは元来、禅宗の僧侶でしたが、最新の宗教の禅の一部として朱子学を研究していました。彼らは仏教の事を、出家者の僧侶たちが行うべき道徳的な指針を示すことも出来ず、社会のために何の役にも立たない穀つぶしの宗教だと批判しました。しかし、面白いことに「葬式仏教」は、彼らの批判の対象にはならなかったのです。

**会長スピーチ**

(熊本北ロータリークラブ 村上 芳明 会長)



皆様、こんばんは、熊本北RCの村上です。熊本グリーンRC様との合同例会は2007年、当時ガバナー補佐をされ、今期の熊本北RCの幹事をされている中尾会員達の努力により、スタートしたと聞いています。私はまだ入会していませんでしたので、詳しいことは知りませんが、当時は熊本北RCでは会員の減少の問題があったようです。会員の減少は熊本北RCにとってはなお深刻になっています。今日は熊本グリーンRC様の良い所を学ぶ良い機会です。

ところで、熊本北RCは今年が37年です。40周年を目標に会員一同頑張ろうと心に決めています。熊本グリーンRCの皆様にはご助力とご指導をよろしくお願い致します。

**幹事報告**

(荒木 一之 幹事)

■ 報告事項(その他のロータリー関)

①「第7回熊本中央RCチャリティゴルフコンペ」参加のお礼が来ております。先日開催されましたゴルフコンペの際は、126名と多数の参加者があり、参加費の一部をチャリティとして、テレビ熊本を通じ「FNSチャリティキャンペーン2015年度支援国マダガスカル共和国へ寄付されたそうです。

■ 例会変更

<変更>

【熊本りんどうRC】

11月19日(木)の例会は、職場訪問のため、当日14:00より(株)愛葉にて行います。

**出席報告**

葉 高源クラブ管理運営委員(出席担当長)

	会員総数	22名	出席率
11月9日	出席免除会員数	2名	70.00%
	計算上会員数	20名	
	出席会員数	14名	
10月26日	前回の出席会員数	14名	76.19%
	メイクアップ数	2名	
	修正出席会員数	16名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・11/2 熊本南RC 葉 君			
・11/4 熊本グリーンRC 福島 君			



**来訪者紹介** (大友 利行 熊本グリーン会長)

卓話者:八代神宮 宮司 松井 葵之 氏(八代RC)

**委員会報告**



①「ロータリーの友」11月号の内容紹介について

報告者:クラブ広報委員会 本田 悟士クラブ広報委員長

②グリーンRC農園について

報告者:農業委員会 仙波 洋八会員

先週、農業委員会はしばらく休眠する旨をお伝えしましたが、松村会員が畑を綺麗に整備して下さったのと、中島三千代会員の施設の方が楽しみにして下さっていると聞き、奉仕プロジェクト委員会とも相談して、今からでも何か植え付けをする方向で活動を再開したいと思っております。次週の例会終了後に「奉仕プロジェクト委員会」を開催し、その際に今後の計画を話し合いたいと思います。詳細が決まりましたら後日お知らせ致します。

**スマイル** (田中 純司 熊本グリーン会員)

- 松井 葵之 君(八代RC)  
「本日は皆様方の貴重な例会の卓話にお招き頂き光栄に存じます。お耳を汚す事になろうかと思  
いますが、何卒ご海容の程お願い致します。」
- 熊本北RC(全員スマイル)  
「暦の上では昨日から立冬に入りましたが、紅葉が美しく秋も深まり過ぎ易い季節です。今日は  
熊本グリーンロータリークラブ様との合同例会よろしくお願い致します。又、松井様の卓話に期待  
してスマイルします。」
- 大友 利行 君、荒木 一之 君  
「今日の松井先生の卓話楽しみにして居ります。遠路お出かけ下さり有難う存じます。宜しく願  
い申し上げます。」
- 伊津野良治 君  
「家内がノロウイルス腸炎になりました。11月がピークとされます。皆様お体に御注意下さい。」
- 本田 悟士 君  
「熊本北ロータリークラブとの合同例会にスマイルします。また、八代RC松井様の卓話に感謝し、  
楽しみにしてスマイルします。」
- 田中 純司 君  
「熊本北ロータリークラブとの合同例会は1年振りですね。松井様の卓話楽しみにしていました。  
よろしく申し上げます。」
- 河島 一夫 君、葉 高源 君、栗山 義則 君、長野 義文 君、中島三千代 君  
「本日は八代より松井さんが来られるとの事で、どんなお話をなさるか楽しみにしています。松井  
さんは八代市立博物館の館長でもいらっしゃいます。イブニングクラブを楽しんで下さい。」

**3. 例会プログラム**



「松井家の歴史と文化財について」  
八代神宮 宮司 第十四代松井家当主  
松井 葵之 氏(八代RC)

私たちの財団

# 補助金プロジェクトのカ

## メキシコの僻地で医療を提供

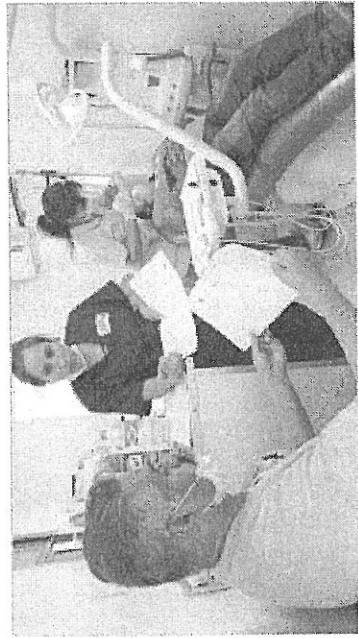


クラブ戦略計画の一環で、「カリタス・デ・モンテレー」という団体に働きかけました。カトリック教会の支部であり、人道・開発組織でもあるこの団体は、1982年以來、この地域で無料の医療・歯科サービスを提供してきました。

受益コミュニティの一つであるサラゴサは、モンテレー市から車で6時間もかかる山沿いの山村。サン・ニコラスの会員、ジェラルド・モリナさんによれば、この村は、医療車両が行き届かない開拓地域の住民が集まる地点となっているそうです。村人た

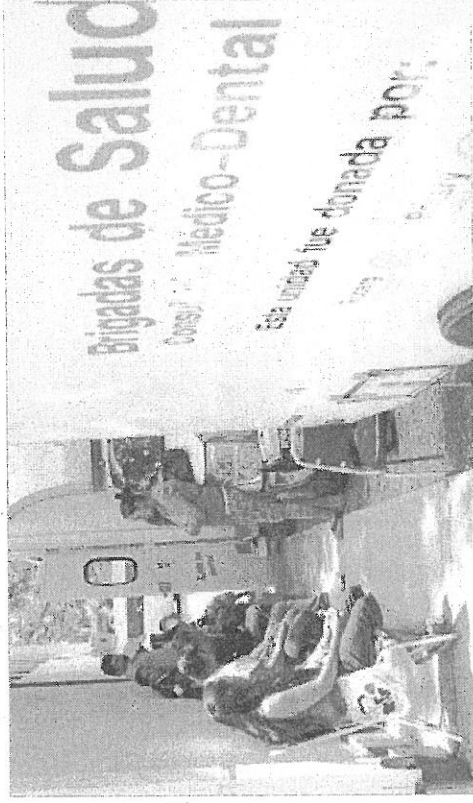
ちは、一般的な医療や歯科治療、小児医療、婦人科医療、栄養のアドバイスなどを受けけるため、ここまで足を運んでやってきました。

「僻地に行き渡るサービスを提供するには、ロータリー財団の力を借りるのが一番。だからこそ、世界中のロータリアンが財団を支援することが重要なのです。私たちのクラブは、プロジェクトのために財団から資金を受け取る一方で、財団を支えるために寄付することが大切だと考えています」とモリナさん。

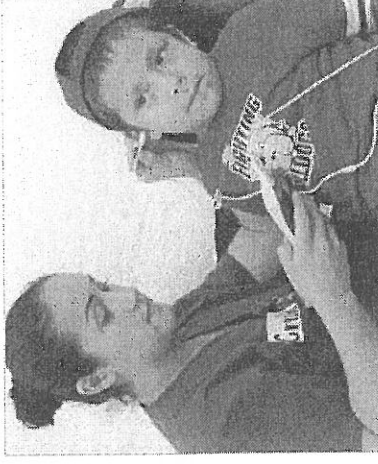


ロータリー財団のグローバル補助金を通して、メキシコの僻地で提供された無料の医療。メキシコと米開拓キヤス州のロータリークラブが協同で、医療機器を搭載した車両を寄贈したプロジェクトをご紹介します。

プロジェクトを提唱したサン・ニコラス・デ・ロス・ザルサ・ロータリークラブ（ヌエボ・レオン州）は、多岐的な



（写真上）移動式医療クリニックの前で待つ人びと。（写真下）移動式医療クリニックの内部。



① ロータリー財団月間を記念して、財団へのご寄付をお寄せください。

成社会全体の医療に大きく役立っています」。

このプロジェクトの例のように、寄付がいかにかに生かされているかを物語るストーリーを多くの人に伝えましょう。

「母子の健康のための医療チームの派遣、経済の発展や平和の推進のための活動など、財団を通じて活動により、ロータリアンが力を合わせて成し遂げられることの可能性に気づかれます。財団からの資金のおかげで、このプロジェクトに機材を寄贈することができました。この機材は、地